

# 言語学習ストラテジー・まとめ

レベッカ・L・オックスフォード『言語学習ストラテジー』凡人社 より

- 各項目の構成、名前はオリジナルを引用しています。  
引用の正当な範囲内と理解して許諾を取っていません。  
再配布の方法などにより、引用元からのクレームが生じる場合があります。
- **同じ名前の活動が、複数のストラテジー入っている場合があります。**
- 具体例は『世界一わかりやすい日本語教師養成講座(セカワカ)』が要約したもの、及び、日本語学習にあてはめて発想したもので個別の著作権があります。

## II 認知ストラテジー

オリジナルの項目名

### A. 練習をする

#### 1. 繰り返す

繰り返し聞く。繰り返し(目的を変えるなどして)読む。

『セカワカ』の要約、具体例

- ビリーフなどによりバイアスがかかることが予想されます。  
なるべくオリジナルにあたって、内容を検討してください。  
現実にはさまざまな方法が複合的になされます。
- 具体例は、完全に具体的に書かれていないものもあります。  
一般の参考書に書かれている活動例などを参考にしたり、ご自身でイメージしてください。  
完全にイメージできれば、授業に活用できる知識になります。
- ★ 内容についてメールでの質問は受け付けません。  
『セカワカ』のYoutube「学習ストラテジー」のコメント欄でご質問ください。  
気づかない可能性もあります。しばらく待っても返信がなかったら、再コメントしてください。  
質問の意図がわからない場合、「いいね」マークだけつける場合があります。  
だれが読んでも質問の意味が理解できるようにお書きください。  
できたら、仮説検証的な質問にしてください。  
仮説検証的＝「○○と考えたがどうか」  
『セカワカ』からの返答は「たぶんいいと思います」「ちょっと違うかもしれません」程度になるかもしれません。短文による意思疎通には限界がありますので、ご容赦ください。

## I 記憶ストラテジー

(青字は日本語教育に関する勉強法としての例。★はそのまま使える方法)

### A. 知的連鎖を作る

#### 1. グループに分ける

「品詞」「話題」「機能」「類義」「対立」「感情」etc.

日本語史登場人物の相関図を作る。

#### 2. 連想をする/十分に練る

「言」から「話」の意味を連想する。「言」と「話」から「舌」の意味を連想する。

#### 3. 文脈の中に新しい語を入れる

学んだ語を使って短い話を作る。

### B. イメージや音を結びつける

#### 1. イメージを使う

連想法。ひらがなの「く」を覚えるため、母語の/ku/の音で「く」の形のものと同じく結びつける。

語呂合わせにイメージを組み込む。

#### 2. 意味地図を使う

マインドマップや概念図を書く。

★

#### 3. キーワードを使う (キーワード法)

英語話者が「矢」という語を覚えるため「YEAH!」と言いながら矢を射るイメージを使う。

#### 4. 記憶した音を表現する

語を他の語(母語又は目標言語)と結びつける。「航海に出て後悔した」

ダジャレ的な語呂合わせ。「目と耳(メトニミー)は近くに合っかんゆ(換喩)くない」

### C. 繰り返し復習する

#### 1. 体系的に復習をする

復習の方法としての体系。インターバルを短時間から長時間へと変化させる。

★

間隔学習・スペーシングなどと呼ばれる。

### D. 動作に移す

#### 1. 身体的な反応や感覚を使う

TPR(Total Physical Response)の方法を取り入れる。

#### 2. 機械的な手法を使う

単語カードを使う。

★

## II 認知ストラテジー

### A. 練習をする

#### 1. 繰り返す

繰り返し聞く。繰り返し(目的を変えるなどして)読む。★

繰り返し発話する。繰り返し(パターンを変えるなどして)書く。書いたものを修正する。★

#### 2. 音と文字システムをきちんと練習する

文脈のない音声を聞く。母音やスペリングで分類して聞く。発話を録音する。

文字を書き写す。イメージやユーモアを使って文字を覚える。

#### 3. 決まった言い回しや文型を覚えて使う

あいさつ、定型句、談話標識を使う。

#### 4. 新しい結合を作る

新しく勉強した「～たり、～たりします」と既知の「～できます」を組み合わせる。

#### 5. 自然の状況の中で練習する

実際のコミュニケーションで言葉を使う。タスクを実行する。ゲーム、ロールプレイを行う。

様々な発表。学習者同士の交換日記。投稿。

### B. 情報内容を受け取ったり、送ったりする

#### 1. 意図を素早くつかむ

スキミング、スキヤニング、タスクリーディング、図表、チャート、etc. (文芸作品には不向き) ★

#### 2. 情報内容を受け取ったり、送ったりするためにさまざまな資料を使う

辞書、文法書を使う。背景知識のための関連書を使う。★

## C. 分析したり、推論したりする

### 1. 演繹的に推論する



活用ルールを新しく学習した動詞に適用する。

### 2. 表現を分析する

文を品詞ごとに分けて理解する。単語を、接頭辞や、接尾辞から推測する。

### 3. (言語を)対照しながら分析する

「スーパー」は「supermarket」と理解する。「機」は「机(簡体字)」であると理解する。

### 4. 訳す

逐語訳をする。(逐語訳がときに齟齬を起こすことを理解する)

### 5. 転移をする

母語による学習で知った「TSUNAMI」で「津波」を表現する。(正しい転移)

母語の「愛人(配偶者、恋人)」を使って、自分の妻を紹介する。(誤った転移)

## D. インプットとアウトプットのための構造を作る

### 1. ノートを取る



母語で重要な点を書く。

「買い物リスト式」「T型式」「意味地図」「フローチャート」「樹形図」「標準アウトライン型」

### 2. 要約をする



タイトルをつける。絵を並べる。目標言語を書く練習としても有効である。

### 3. 強調をする

色、下線、大きく書く、など。



### Ⅲ 補償ストラテジー

#### A. 知的に推測する

##### 1. 言語的手掛かりを使う

プロミネンスから重要な点を推測する。「東京で何泊する?」「3か4かな・・・」  
長い外来語が省略される事実から「スマホ」の意味を推測する。  
文脈から未知の語を推測する。

##### 2. 非言語的手掛かりを使う

お辞儀や手刀から、「申し訳ないんだけど」の意味を推測する。  
背景に聞こえる電子音から、ゲーム実況をしていると推測する。  
論文や物語の談話構成の知識から、内容を推測する。  
背景知識から内容を推測する。「株安から円高」と推測する。

#### B. 話すことと書くことの限界を克服する

##### 1. 母語に変換する

「横沢先生」か「横沢さん」か、どちらを使うかわからないとき「ミスター・横沢」と言う。

##### 2. 助けを求める

「横沢先生」と「横沢さん」を、語尾を上げて言って相手の反応を待つ。

##### 3. 身ぶり手ぶりをを使う

電波という言葉を知らないので、手で波の動きを表す。

##### 4. コミュニケーションを部分的に、あるいは、全く避ける

「京都に行ったか」と聞かれ、「3回行ったことがある」と言いたいが、「はい」と答える。

##### 5. 話題を選択する

アニメファンが、アニメの話題になるように話を向ける。

##### 6. 情報内容を調節したり、とらえたりする

「若いころ諸外国を放浪したと思ったものだ」という表現に自信がないとき  
「私が若かった時、いろいろな国へ行きたいと思っていた」と述べる。

##### 7. 新語を造る

帯という語の代わりに「着物ベルト」と言う。

##### 8. 婉曲的な表現や類語を使う

下駄という語の代わりに「日本の木のサンダル」と言う。

# 間接ストラテジー

## I メタ認知ストラテジー

### A. 自分の学習を正しく位置づける

#### 1. 学習全体を見て、既知の材料と結びつける ★

日本語スピーチの内容を見て、自分の経験や感情と比較する。

教員試験の出題範囲と、検定試験の過去問の内容を、既知の知識で判断する。

#### 2. 注目する ★

集中できる教材で全体に注目する。チェックリストなどで部分に注目する。

#### 3. 話すのを遅らせ、聞くことに集中する

サイレントピリオドを優先する。

### B. 自分の学習を順序立て、計画する ★

#### 1. 言語学習について調べる

初級授業がPPP(MMC)の構造であることを理解する。

#### 2. 組織化する ★

物理的に良い学習環境を作る。計画表などを作成する。学習ノートを作る。

#### 3. 目標と目的を設定する ★

長期的目標(TVニュースを理解する)と短期的目的(聴解問題を5問解く)など

#### 4. 言語学習タスクの目的を明確にする(目的を持って聞く、読む、話す、書く)

目的が敬語使用にあると理解してインタビュー活動を行う。スキミング、スキヤニング。

#### 5. 言語学習タスクのために計画を立てる

相撲についての記事を読むために、土俵、まわしなどの言葉を調べる。

#### 6. 実践の機会を求める ★

クラス外で、日本人にはなしかける(ための計画を立てる)。

ボランティア教室へ参加し、授業のアシスタントを行う(という計画を立てる)。

### C. 自分の学習をきちんと評価する

#### 1. 自己モニターをする

学習ノートに問題点を記録する。「あなた」と呼ばれた日本人の不快感を察知する。

#### 2. 自己評価をする ★

試筆のテスト以外の代替的評価(ポートフォリオなど)を使う。

検定試験の過去問を解き、正解率の推移を記録する。

## II 情意ストラテジー

### A. 自分の不安を軽くする ★

#### 1. 斬新的リラックス法、深呼吸、黙想を活用する

斬新的リラックス法＝筋肉を緊張させたあと、弛緩させる

#### 2. 音楽を使う ★

授業前に音楽を聞く。

#### 3. 笑いを使う ★

能動的な活動において、ジョークを言う。

### B. 自分を勇気づける

#### 1. 自分を鼓舞することばを言う ★

「わたしは話すのが上手になっている」と言う。

#### 2. 適度に冒険をする ★

自分なりの文法や語彙で発話する。

#### 3. 自分を褒める ★

「わたし、天才？」と言う。タスクの完成の報酬として、自分にプレゼントを買う。

### C. 自分の感情をきちんと把握する

#### 1. 体の調子を診る ★

漢字が多い文を見ると緊張することを理解して、リラックスしようとする。

#### 2. チェック・リストを使う ★

毎日～数日ごとにチェック・リストに記入し、ときにクラスで内容について話し合う。

#### 3. 言語学習日記をつける ★

学習ジャーナルを作る。効果的なストラテジーを割り出す。

#### 4. 他の人と自分の感情について話し合う ★

感情を共有し不安を解消する。

### Ⅲ 社会的ストラテジー

#### A. 質問をする

##### 1. 明確化、あるいは確認を求める

「もう少しゆっくり話して」「それはどんな意味ですか」「～と言ったの？」などと言う。



##### 2. 訂正してもらう

教師に作文の問題点を指摘してもらう。

#### B. 他の人々と協力する

##### 1. 学習者同士が協力する

ジクゾーリーディングを行う。ピアレスポンスを行う。

##### 2. 現在学習中の言語に堪能な人と協力する

日本人の友人と会話し、定型表現やジェスチャーを学ぶ。



#### C. 他の人々へ感情移入をする

##### 1. 文化を理解する力を高める

日本へ旅行する。日本の映画を見る。

##### 2. 他の人々の考え方や感情を知る

教師を観察し、感情と表される音韻の関係を理解する。